

# つながりによる変革

## [中小企業の連携による新たな事業の創造]

低迷する日本企業の中にも、新しい経営の息吹が見られます。新しい製品や技術、新しい事業モデルなどの斬新な経営が始まっているのです。そこには企業単独の取り組みだけでなく、他社との連携が見られます。

今回の産学交流セミナーでは連携によって事業を革新する先進的な3企業を招いて、体験談を語っていただきます。その活動紹介のなかから連携活動の可能性、効果的なあり方を探ります。



日 時

**2012年6月20日(水)**

14:00~17:30

場 所

**大阪商業大学 ユニバーシティホール 蒼天**

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10

※近鉄奈良線「河内小阪駅」(準急・区間準急・普通停車)下車、北東へ徒歩約5分

■定員／150名

■費用／無料

申込  
方  
法

※定員になり次第、締切とさせていただきます。

申込先／大阪商業大学社会連携・研究支援課  
TEL (06)6785-6262/FAX (06)6785-6156

E-mail:liaison@oucow.daishodai.ac.jp

※裏面申込書にご記入の上、FAXでお申し込みください。

### プログラム

13:30	開場
14:00	開会挨拶
14:05	講演1 <b>連携によるエコ関連商品の開発</b> 山陽製紙株式会社 代表取締役 原田六次郎
14:55	講演2 <b>「ギャルママ商品開発部」 新たな商品開発モデルづくり</b> 株式会社カワキタ 代表取締役社長 河北一朗
15:45	講演3 <b>産学連携による先進技術の開発</b> 株式会社加藤製作所 常務取締役 加藤安行

16:35	パネルディスカッション <b>中小企業の連携による革新</b> (パネリスト) 山陽製紙株式会社 代表取締役 原田六次郎 株式会社カワキタ 代表取締役社長 河北一朗 株式会社加藤製作所 常務取締役 加藤安行 (コーディネーター) 大阪商業大学 総合経営学部経営学科 教授 小川正博
17:25	閉会挨拶

## 講師プロフィール & テーマ



### 山陽製紙株式会社

代表取締役  
原田 六次郎

昭和3年紙の卸商として創業し、昭和26年製紙工場開設以来各種循環型機能紙の製造販売や紙のスリット加工、電子部品用層間紙の加工販売を行う。工場開設以来、古紙を原材料に、セメントや米の袋に用いられるクレープ紙を主力製品にして、今日ではクレープ紙専業のトップ企業。

講演では、各種循環型機能紙の商品開発活動を紹介する。和歌山県の特産品である梅の種を炭化させて紙に抄き込んだ「梅炭クレープ紙」は、廃棄物の利用と脱臭、調湿、環境ホルモンの吸着などの性質を持つ製品として、TVや『中小企業白書』でも取り上げられる。このほか大手ビール企業や食品企業、道路公園などとの連携活動で新たな可能性を追求する。



### 株式会社カワキタ

代表取締役  
河北 一朗  
(ギャルママ商品開発部 代表)



昭和21年創業の生活雑貨の企画、製造、販売業でキャラクター雑貨、化粧雑貨や文具、ベビー用品などを取り扱う。創業以来、セルロイドやプラスチック用金型の製作・成形を行ってきたが、現在では国内や中国のパートナー工場生産によるファブレスのメーカー。

講演では、若い母親が集まつて商品企画を行う「ギャルママ商品開発部」の連携活動を中心に東大阪の中小企業の連携活動をとりあげ、新しい商品開発モデルの内容やその可能性を紹介する。ギャルママ商品開発部の活動は今、若い母親である顧客が商品開発しそれを中小企業が商品化する新しいイノベーション手法として、テレビや新聞などのマスコミで全国的に紹介され注目を浴びている。



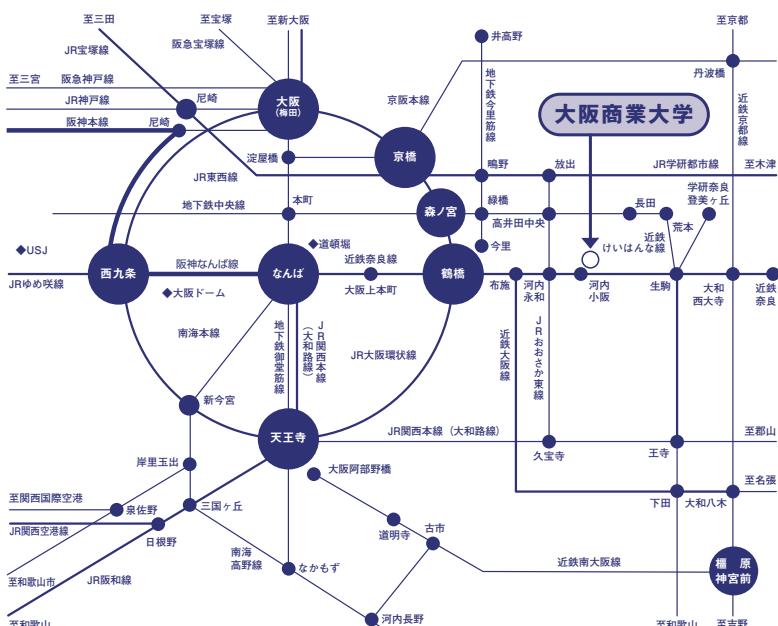
### 株式会社加藤製作所

常務取締役  
加藤 安行

昭和24年創業で本社は名古屋、岐阜県可児市に本社工場を構える精密プレス加工、プラスチック成形加工、金型設計・製作業で、自動車や燃焼・厨房機器部品等を生産する。技術力では定評があり、世界中の自動車用各種センサー部品を主に生産している。それらの製品は平らな金属板を筒状に絞り加工後、側面に複数の穴加工や、内面の鏡面加工をするが、これらの加工を1台のプレス機械のみで加工し、プレス加工後、キズ・凹凸もなく、肉厚も均一な製品にする技術を保有する。中小企業の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定。関連会社や子会社としてアメリカ、韓国、シンガポール、中国などに会社保有し、大企業との連携も行うグローバル企業である。

講演では、岐阜県工業技術研究所、岐阜県セラミックス研究所、京都大学との産学連携による「セラミック製絞り金型」などによる生産革新などを紹介する。これは加工油を使用しないため、環境負荷の低減とともに製品の低コスト化を実現している。

## 主要駅からのルート



## 近隣地図



## 会場 大阪商業大学 ユニバーシティホール 蒼天

T577-8505  
大阪府東大阪市御厨町4-1-10 TEL.06-6785-6262 FAX.06-6785-6156  
URL: <http://ocu.daishodai.ac.jp>

### ●交通のご案内

・近鉄奈良線「河内小阪駅」(準急・区間準急・普通停車)下車、北東へ徒歩約5分

※会場へは電車等の公共交通機関をご利用ください。

マイカー等の駐車スペースはございませんので、ご了承ください。

2012年 月 日

## 第9回 産学交流セミナー 参加申込書

大阪商業大学 社会連携・研究支援課宛 TEL(06)6785-6262 FAX(06)6785-6156

ふりがな				年 代	<input type="checkbox"/> ~20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代	性 別	男 · 女
申込者名							
ご住 所	〒						
ご連絡先	TEL				E-mail		
	FAX						
本セミナーを 何でお知りになりましたか? (○をお付けください)		1. ダイレクトメール ( 大阪商業大学・日本政策金融公庫・大阪府中小企業団体中央会 ) 2. メールマガジン ( ) 3. チラシ ( 設置場所 ) 4. ホームページ ( 大阪商業大学・日本政策金融公庫 ) 5. 知人などに聞いて 6. その他 ( )					

この申込書に記入いただきました皆様の個人情報は、安全かつ適切な管理を行います。また、これらの個人情報は、本学が行う各種行事(公開講座・セミナー・大学祭など)での案内に利用する場合があります。なお、これら的情報提供が不要な場合は右記□欄に☑印をご記入ください。

情報提供不要